

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会
パンフレット制作 株式会社アイブレーン

SBP交流フェアの詳しい情報はホームページをご覧ください。
<https://mirai-otona.jp> 「未来の大人」で検索

\\ follow me!! //

YouTube
未来の大人応援
プロジェクト



LINE
公式アカウント
@miraiotona



Instagram
@mirai_otona



Find us on f
@mirai.no.otona.sbp



第7回

全国高校生

SBP

Social
Business
Project

交流フェア

高校生の“伸びしろ”は、
そのまま日本の“伸びしろ”だ！

プログラム1

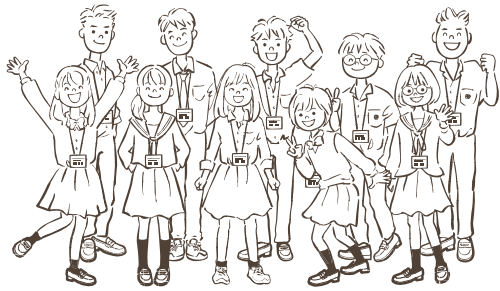
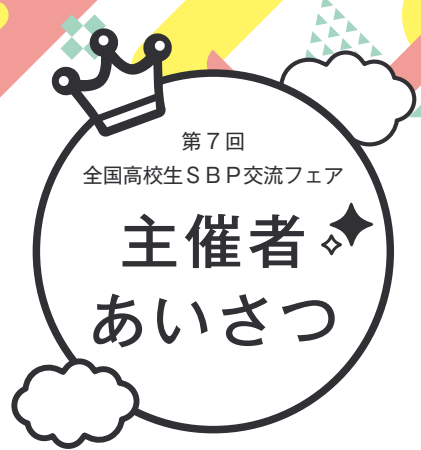
SBP チャレンジアワード本選 オンライン

2022 7月30日(土)・7月31日(日)

プログラム2

SBPチャレンジアワード決勝・交流会・会場 皇學館大学
ワークショップ・表彰式

2022 8月20日(土)・8月21日(日)



未来の大人と未来を創る！

「第7回 全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。

本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、それぞれの取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

開催当初は、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などいくつかの課題があり、開催自体その意義を問う必要がありました。そこで最初の3年間は、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」と銘打ち、本フェアの前身をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、第7回を開催する運びとなりました。

過去2回は、新型コロナウィルスの影響でオンラインでの開催となりましたが、今回は会場の皇學館大学のご英断により現地（大学）開催で行えることになり、3年ぶりに全国から本当に多くの高校生たちが伊勢の地に集結します。

また本フェアは、企画・進行・運営を三重県立相可高校生産経済科・食物調理科・南伊勢高校・松阪商業高校・昂学園高校・伊勢工業高校の生徒達が担当しています。

そしてその高校生達を、皇學館大学生がさらに裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。

『高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！』という言葉を胸に、私たちは地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を、全員で、全力で、温かく育てていきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くのカッコいい大人たちに感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

SBPとは

SBPは「Social Business Project（ソーシャルビジネスプロジェクト）」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに80以上の団体や高校が参加しています。



主 催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委 員 長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委 員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委 員	新田 均	皇學館大学現代日本社会学部 学部長
委 員	浅沼 千恵	三重県立相可高等学校 校長
委 員	角屋 貴久	三重県立南伊勢高等学校 校長
委 員	西根 正子	三重県立松阪商業高等学校 校長
委 員	山北 正也	三重県教育委員会高校教育課 課長
委 員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表

後 援

文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、度会町、皇學館大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会ロータリークラブ、南伊勢町商工会、三重ニュービジネス協議会

協 力

株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NT GROUP、株式会社相可フードネット、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、株式会社グラノ24K、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ、三重県立伊勢工業高等学校、morockme

広 報

マスコミ（TV、新聞等）への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施

記 録

佐藤 創（映像・アニメーションスタジオ イエンスの塔 代表）、皇學館大学 大学生テレビ局、高井 克明（皇學館大学 大学生テレビ局 OB）、三重県立昂学園高等学校 中川 大輔

企画・運営 スタッフ

○一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

岸川 政之、北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、楠木 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓末、阪井 宣行、南 直好、大原 颯太、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、西村 重哉、中村 武弘、村林 新吾、山岡 茂治、中沢 仁、岸川 晃大、岩城 裕子

○三重県立相可高等学校 生産経済科 稲葉 帆香、奥地 麻琴、小倉 瑠莉、太田 伊吹、内山 栞那、森 恋雪

○三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP
磯崎 碧生、木村 朱、小筆 薫、中村 美紅、濱川 蓮磨、荒木 逸征

○三重県立松阪商業高等学校 松阪商業 SBP
三宅 瑠美奈、安部 琴美、辻田 紗楽、濱口 実、林 優菜、市野 愛果、河合 優奈、久保 泰成、中谷 敬心、中村 和輝、村田 然

○三重県立伊勢工業高等学校 西河 玲人

○皇學館大学 大学生 SBP 研究部会

磯 伶奈、増井 香苗、宮本 幸佳、岩田 一希、中保 敦詞、西口 颯真、林 一孝、三好 ともる、山田 泰資、山川 流樹

○皇學館大学 学生スタッフ

荒 光太郎、安藤 映斗、伊藤 連太郎、榎本 純也、角前 亮太、喜多 陸斗、木下 耕之介、黒川 大登、小林 圭矢、仲 隼平、中川 亜玲、西口 竜成、藤川 真翠、堀山 裕都、前田 侑音、水谷 空雅、山口 桜介、大道 友美菜、瀬尾 祐樹、中川 澄俊、稲垣 朱根

これまでのSBP協賛企業様一覧（50音順です。）

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレーン、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing（ウエルビーイング）、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社 NTT ドコモ、株式会社 O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット（せんばいの店）、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケコッコー共和国、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、日経三勢会、人源輝業塾、NEXCO 中日本サービス株式会社、万協製薬株式会社、番頭舎、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）、富士ゼロックス三重株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マサヤ、株式会社マサヤグループ本社、マルシェ株式会社、三重県教育工学会、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス 21、株式会社 LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライス、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社、有限会社わらしべ



プログラム
1

SBP チャレンジアワード本選
2022 7月30日(土)・7月31日(日)

プログラム
2

SBP チャレンジアワード決勝・交流会・
ワークショップ・表彰式
2022 8月20日(土)・8月21日(日)

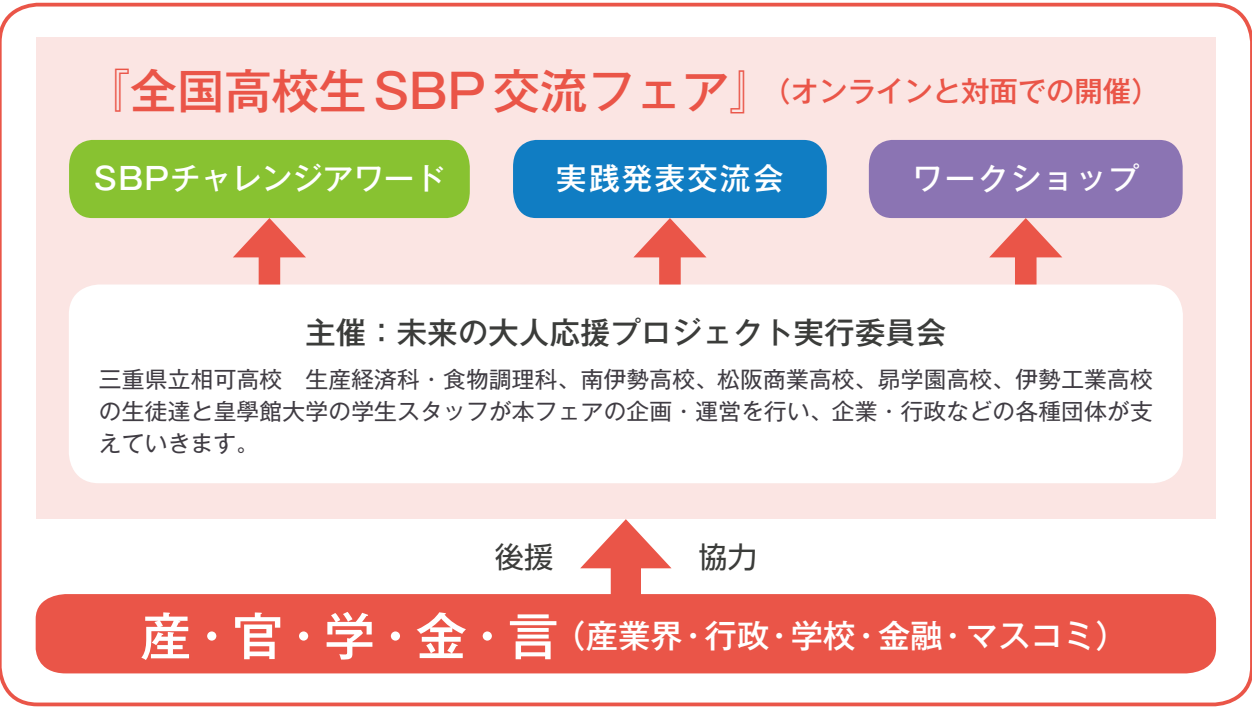
第7回 全国高校生SBP交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”しながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。



色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

取組発表について 予選（書類審査）→ 本選 → 決勝

事前の書類審査を通過した最大24団体が本選に出場します。

本選ではオンラインで5分間のプレゼンテーション・質疑応答を行い、その中から決勝に参加する6団体が選ばれます。決勝では選ばれた6団体が10分間のプレゼンテーション・質疑応答を行います。

成績評価について 『文部科学大臣賞』『三重県知事賞』『審査員特別賞』

本選では全参加団体の取り組みに対し『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、90点未満）、『雅』（50点以上、75点未満）の評価を行います。決勝では選ばれた6団体から、最も評価が高かった団体に『文部科学大臣賞』、次に『三重県知事賞』を授与します。また、審査員全体での『審査員特別賞』を授与する場合もあります。

各特別賞について 審査員・協賛企業がそれぞれ1団体を選出

SBPチャレンジアワードに参加したすべての団体から、それぞれの基準・観点で選ばれた団体に次表の各賞を授与します。賞の選定は協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとします。

審査委員

SBP チャレンジアワード本選および決勝の審査をおこないます。

No	氏 名	所 属 等	特 別 賞
1	荒 木 康 行	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー（元 TBS 番組プロデューサー）	角田陽一郎賞
3	小 村 俊 平	ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長	ベネッセ賞
4	小役丸 秀一	株式会社グラノ 24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
5	武 井 史 織	アドビ株式会社 クリエイティブクラウド コミュニティマネージャー	アドビ賞
6	多 田 祐 美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	三井化学賞
7	鉄 矢 悦 朗 小 林 拓 哉	東京学芸大学 教授 / NPO 法人東京学芸大こども未来研究所 副理事長 東京学芸大学 子どもの学び困難支援センター 共同研究員	東京学芸大学賞
8	徳 野 貞 雄	トクノスクール・農村研究所 代表／熊本大学 名誉教授	徳野賞
9	新 田 均	皇學館大学 現代日本社会学部 学部長	皇學館大学賞
10	藻 谷 浩 介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
11	山 北 正 也 谷 奥 茂	三重県教育委員会 高校教育課 課長（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員） 三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐兼班長	
12	渡 邊 文 稔	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
13	大 学 生 SBP	皇學館大学 大学生 SBP 研究部会 森 知帆里（現代日本社会学部 3 年）、上村 駿介（文学部 2 年）、 登 唯翔（現代日本社会学部 1 年）、松井 輪昇（文学部 1 年）	大学生 SBP 賞

※敬称略、50 音順

特別賞審査員

参加団体の取り組みを各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏 名	所 属 等	特 別 賞
1	泉 正 隆 高 橋 眞	BS よしもと株式会社 代表取締役副社長 BS よしもと株式会社 地域推進・事業局 局長	BS よしもと賞
2	上 村 久 仁	三重県度会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞 （南伊勢町長賞）
3	太 田 裕 二	みらいこ株式会社 取締役	みらいこ賞
4	楠 木 裕 子	株式会社アイブレーン 代表取締役社長	アイブレーン賞
5	小 島 邦 彦	NEXCO 中日本サービス株式会社 総務企画部	NEXCO 中日本 サービス賞
6	坂 本 由 子	コスモピア株式会社 代表取締役	コスモピア賞
7	宮 本 晃	三重県伊勢市役所 伊勢市産業観光部 部長	伊勢市長賞
8	佐 村 英 之	合同会社プレシャスコネクション 社長	プレシャス コネクション賞
9	武 田 数 宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD 賞
10	筒 井 琢 磨	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学 現代日本社会学部賞
11	野 呂 厚 史	株式会社アンシャンテ 代表取締役	アンシャンテ賞
12	濱 田 典 保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
13	福 田 圭	有限会社わらしべ 代表取締役	たいやぎわらしべ賞
14	松本 賀津男	三重ナルミ株式会社 代表取締役社長	NARUMI 賞
15	皇 學 館 大 学 学 生 ス タ ッ フ	皇學館大学 学生スタッフ 一同 審査代表：小林 圭矢（現代日本社会学部 2 年）、仲 圭平（同学部 2 年）、 西口 竜成（同学部 2 年）	皇學館大学 学生スタッフ賞

※敬称略、50 音順

実践発表交流会

8月20日(土) 16:40 ~ 19:40

これまでの『夜の市』をベースに、大学敷地内の芝生広場に高校生のような取組を発表する実践の場として開催されます。開発した商品の販売や紹介、パフォーマンスの披露など、お互いの交流を深め、刺激を受け合う場として開催されます。



プログラム

- 16:00 ~ 実践発表交流会準備
- 16:40 ~ 開会のあいさつ
- 16:45 ~ 各高校による1分間PRタイム
- 17:15 ~ パフォーマンス(踊り)
- 18:15 ~ 夕食(7号館教室にてお弁当)
- 19:00 ~ 盆踊り・交流
- 19:30 ~ プロジェクションマッピング
- 19:40 ~ 閉会、片付け・解散

会場案内

- 1 メインステージ
- 2 出展ブース①~⑨
- 3 本部席・休憩席
- 4 食事・休憩所



出展団体

全27団体が出展・発表をおこないます。
※新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「三重県指針」に従い実施します

商品販売・取組出展

出展番号	団体	出展内容
①	伊勢度会ロータリークラブ	高校生への飲料提供
②	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP	防災非常食「せんだご汁」の販売
③	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	仙臺サイダー、仙台べこタンカレー、シイタケのじく旨キーマカレー の販売
④	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	梅あられ、梅ジャム、梅ゼリー、梅やきとりのたれの販売
⑤	福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 社会起業部カフェチーム	焼き菓子、ドリップバックなどの販売
⑥	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト	鶴見区名物「つるりっぷパン」の販売
⑦	三重県立あけぼの学園高等学校 製菓製パン部	地元食材を使用したパンの販売(黒豆パン・漬け物パン)の販売
⑧	三重県立紀南高等学校 きにゃんプロジェクト	「きにゃんときにゃこのクリームサンド」の販売
⑨	福島県立小名浜海星高等学校 商業部	どら焼き、焼き菓子、コットンのタオルの販売
⑩	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	フェアトレード商品、障害者支援品、被災地支援品のチャリティー物品の販売
⑪	富山県立滑川高等学校 薬学部	ヘアオイル、フェイスマスクの販売
⑫	京都府立海洋高等学校 海洋資源科 食品経済コース	おさかなクッキーの販売
⑬	三重県立水産高等学校 水高 SBP	カレー、缶詰などのレトルト食品の販売
⑭	岐阜県立加茂農林高等学校 森林科学科	これまでの里山の取組紹介(動画で紹介)
⑮	三重県立相可高等学校 農業クラブ	各種コスメ、苺菓のフレグランス、バジルオイル、豆茶の販売
⑯	沖縄県西原町 NS²BP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	万能ダレ、お菓子の販売
⑰	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	静岡産(島田産)緑茶・島田の和菓子・島田の逸品、復興支援商品の販売
⑱	三重県立明野高等学校 あかりのプロジェクト	肉みそ、レトルトカレー「トンでもないカレー」の販売
⑲	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ	レトルトカレー「トンでもないカレー」、焼き菓子の販売

パフォーマンス・映像披露

発表番号	団体	出展内容
1	皇學館大学 よさこい部 “雅”	よさこい(披露+全員参加型の高知系よさこい)
2	沖縄県西原町 NS²BP(西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	エイサー(沖縄の伝統的な演舞)
3	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	ダンス(旬のダンスをお届けします)
4	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班・地域創造コース	創作盆踊り 浴衣 DeNight(浴衣を着てのパフォーマンス)
5	映画『法定相続人(仮)』田中光敏監督	高校生へのメッセージビデオ
6	三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP × 三重県立伊勢工業高等学校 美術部 SBP 班 Supported By 皇學館大学 大学生 SBP 研究部会	第7回全国高校生 SBP 交流フェア プロジェクションマッピング

体験講座・ゲーム他

出展番号	団体	出展内容
⑨	福島県立小名浜海星高等学校 商業部	コットンの糸つむぎ
⑫	京都府立海洋高等学校 海洋資源科 食品経済コース	ローブワーク講座
⑰	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	蓬莱橋射的、大井川スマートボール
—	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班(タツヲ焼き) 三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ(Ohkaの絆焼き) 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP(たいみー焼き) 熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP(あまりん焼き)	それぞれの高校・団体がSの絆焼きやオリジナルのキャラクター焼き型をワークショップにて提供

※当日の出展内容は変更になることがあります

ワークショップ

8月21日(日) 9:00 ~ 11:30

高校生の活動を応援していただいている企業や団体、大学生らによって開催されるワークショップです。それぞれの専門性に特化した、映像・動画・SDGs・レクリエーション・ビジネスといったプロの講師によってワークショップがおこなわれます。



WS 1 『Sの絆焼きを焼いてみよう!』 **提供** 有限会社わらしべ **会場** 学生食堂2階

6秒に1枚売れているたい焼き店直伝の、美味しい焼き方・お客様への渡し方を学ぼう!型、生地、環境によって変わる焼き方。いつでも美味しいものを焼けるよう、日頃の疑問をたい焼き店主にぶつけ、質問責めにするもよし、中身(フィリング)を変えて新メニュー開発をするもよし。プロの焼き方、こだわりから学び、Sの絆焼きをますますバージョンアップさせましょう!

WS 2 『身近なSDGsを激写し!雑誌制作カメラマンゲーム』 **提供** 特定非営利活動法人 津市NPOサポートセンター **会場** 731教室

SDGsをテーマに写真を撮影し、取った写真を元にグループで発表を行うワークショップです。身近にあるものからSDGsに結び付けるという少し頭を使ったワークショップをおこないます。

WS 3 『デザインのプロに学ぶ缶バッジ作り』 **提供** 株式会社アイブレーン **会場** 732教室

缶バッジ作成を通してデザインを学ぼう!当社はこれまでの全国高校生SBP交流フェアのパンフレットのデザイン・印刷を担当してきました。みなさんの活動の中で商品開発やPRなどで活用できるようなデザインのコツを伝授します!

WS 4 『防災ってなんなの?を考えるWS』 **提供** 防衛省 自衛隊三重地方協力本部熊野地域事務所 **会場** 712教室

実際に被災地での活動経験のある自衛隊員(元レンジャー隊員)を迎え、体験談を聞いたり、災害時に役立つサバイバル技術である、ローブワーク、担架づくりや炊飯などの体験も実際に行います。防災をテーマに普段から「自分に今できることは何なのか?」を明確にし、強く生きるための行動につなげていきましょう。

WS 5 『楽しいだけで終わらせないレクリエーションWS』 **提供** 皇學館大学生×未来の大人応援プロジェクト実行委員会 **会場** 733教室

「自分自身の人生を歩いていますか?」様々な人との出会いが多くなる高校生に、レクリエーションをきっかけとして自ら動くことの大切さを学ぶWS。主体的に動くことで自分の可能性を広げ、コミュニケーションに自信をつけましょう。大切なのは「楽力(学力)」です。

WS 6 『1分間CM動画作成WS』 **提供** 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 **会場** 711教室

4~5人のグループで約1分間のPR動画をスマートフォンで撮影・作成します。グループで1つのものを協創しながらつながりを深め、活動のモチベーションを高めます。そして自身の活動を進化させるきっかけを作るWSです。

〔大人向け〕SBP講演会 **提供** 皇學館大学 新田 均 × 未来の大人応援プロジェクト 岸川 政之 **会場** 711教室

SBPの基本的な内容から、全国の最新事例までSBPについていろいろなお話をさせていただきます。また、審査員や引率の先生方などの大人が集まり意見交換などもおこないます。生徒たちがワークショップに参加している様子を見に行かれますので出入りは自由です。

オンライン形式

7月30日(土) PM・7月31日(日) AM・7月31日(日) PM

プログラム1 SBPチャレンジアワード本選

SBP チャレンジアワード本選に出場する参加団体が A・B・C の 3 グループに分かれ、オンラインで取り組みを発表します。発表の様子は You tube のライブ配信（限定公開）にて視聴することができます。



グループ A	グループ B	グループ C	
7月30日(土) 12:30 ~	7月31日(日) 8:30 ~	7月31日(日) 12:30 ~	受付開始 ○発表団体は時間までに「SBP チャレンジアワード本選」に入室する ○審査員は時間までに「審査員控室」に入室する
13:00 ~	9:00 ~	13:00 ~	プログラム1 オープニング ○主催者代表挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之 ○オリエンテーション（審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等）
13:30 ~	9:30 ~	13:30 ~	SBP チャレンジアワード本選 発表 ○参加団体の発表者が順番に発表を行う（5分） ○各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施（5分）
16:00 ~	12:00 ~	16:00 ~	プログラム1 エンディング ○講評（各グループの審査代表） A グループ … 株式会社百五総合研究所 代表取締役社長 荒木 康行 B グループ … 株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 C グループ … 三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 グループリーダー 多田 祐美 ○閉会挨拶、全体での写真撮影

結果発表および講評

8月6日(土) 10:00 よりオンラインにて実施します。A・B・C の各グループから 2 団体ずつ合計 6 団体が選出され、選ばれた団体は決勝にて発表をおこないます。

皇學館大学での対面形式

8月20日(土) PM・8月21日(日) AM・PM

プログラム2 SBPチャレンジアワード決勝・実践販売交流会・ワークショップ・表彰式

SBP チャレンジアワードの決勝に選出された 6 団体の取り組み発表と、参加する各団体の商品販売や取組発表をする中での交流、高校生を応援する企業や団体・大学生らによって開催されるワークショップ、そして表彰式をおこないます。



8月20日(土) SBPチャレンジアワード決勝・実践販売交流会

会場移動	宇治山田駅からバスを用意（公共交通機関利用時） ○バスの時間：11:00、11:30、12:00（30分ごとに1便を予定）
12:00 ~	受付開始 会場 皇學館大学 記念講堂入り口（ロビー） ○検温・消毒をおこない、受付終了後、荷物を預け、記念講堂に移動 ○すべての荷物は荷札を付ける 青の荷札：修養団へ配送（バスに積み込む）、白の荷札：配送無し（212 教室へ運ぶ）
12:45 ~	フェア成功祈願祭（皇學館大学 祭式研究部） 会場 記念講堂

13:00 ~	プログラム2 開会式 会場 記念講堂 ○主催者代表挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之 ○後援団体代表挨拶 皇學館大学 学長 河野 訓 ○オリエンテーション（審査員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、予定確認、諸連絡など）
13:30 ~	SBP チャレンジアワード決勝（発表 10 分、質疑応答 10 分） 会場 記念講堂 ○開会御挨拶 文部科学省 地域学習推進課長 黄地 吉隆 ○決勝進出の 6 団体が発表をおこなう（エントリー団体総数：26 団体中）
16:00 ~	SBP チャレンジアワード決勝終了・実践販売交流会準備 ○芝生広場へ移動し準備をおこなう ○審査員は 211 教室にて SBP チャレンジアワードの審査を行い、終わり次第実践発表交流会へ合流
16:40 ~	実践発表交流会 会場 芝生広場・ピロティ ○高校生が司会進行を行い、ダンス・映像による実践発表を披露する ○各団体のブース（取組発表、販売など）を設け自由に交流を行う ○夕食は 7 号館 711・712・721・722 教室に移動（お弁当）
19:40 ~	実践発表交流会終了（プログラム2 初日終了） ○片付け・解散、（公財）修養団伊勢青少年研修センターや各団体が予約した宿泊施設に移動 ○（公財）修養団伊勢青少年研修センターへのバスの時間：20:00、20:30

8月21日(日) ワークショップ・セミナー、表彰式

6:30 ~	起床 ※（公財）修養団伊勢青少年研修センター宿泊者の場合 ○朝食の時間：6:30 ~ 7:30 ○バスで宿泊施設出発（到着後、ワークショップへの参加準備）バスの時間：7:30、8:00
9:00 ~	ワークショップ・SBP セミナー ○事前に登録した 6 つのワークショップ会場に移動（荷物がある場合は 721 教室に置くことができます） ○各会場の入口で体調の確認、検温のチェックを行う ○引率・審査員・関係者など大人の関係者は SBP セミナーに参加（出入自由） WS 1 『S の絆焼きを焼いてみよう！』 会場 学生食堂 2 階 WS 2 『身近な SDGs を激写しろ！雑誌制作カメラマンゲーム』 会場 731 教室 WS 3 『デザインのプロに学ぶ缶バッジ作り』 会場 732 教室 WS 4 『防災ってなんなの？を考える WS』 会場 712 教室 WS 5 『楽しいだけで終わらせないレクリエーション WS』 会場 733 教室 WS 6 『1 分間 CM 動画作成 WS』 会場 711 教室 大人向け 『SBP 講演会』 会場 722 教室
11:30 ~	昼食 会場 倉陵会館（学生食堂） ○ワークショップ終了後、学生食堂へ移動 ○食堂にて高校生レストランで活躍する相可高校食物調理科によるお弁当
13:00 ~	結果発表・表彰式 会場 記念講堂 ① SBP チャレンジアワード・審査員特別賞表彰 ○特別賞の審査員からそれぞれの特別賞の発表・講評・表彰をおこなう ○SBP チャレンジアワード本選の評価「雅」「輝」「極」の表彰も同時におこなう
14:40 ~	② 審査員交流 ○審査員特別賞を授与した審査員と受賞団体が記念講堂や学生食堂に分かれて交流をおこなう ○その他の参加者については大学生や審査員、関係者との交流をおこなう
15:20 ~	③ 文部科学大臣賞・三重県知事賞表彰 ○SBP チャレンジアワード決勝の団体から、文部科学大臣賞、三重県知事賞の発表・講評・表彰をおこなう
15:30 ~	プログラム2 閉会式 ○未来の大人応援プロジェクト実行委員会 高校生委員長 小倉 瑠莉 ○閉会の辞 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之 ○閉会式後、記念撮影
16:00 ~	解散（プログラム2 終了） ○必要な団体にはバスにて駅まで送迎を実施。 バスの時間：16:00（2 便）、16:30（1 便を予定）

参加校 一覧

日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



	ブロック	参加団体・高等学校名	SBP チャレンジ アワード	販売実践 交流会
1	北海道・東北	青森県立鯉ヶ沢高等学校 鯉ヶ沢高校 SBP 研究会	●	●
2	北海道・東北	青森県立三本木農業高等学校、青森県立三本木農業恵拓高等学校 農業クラブ執行部	●	
3	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	●	●
4	北海道・東北	福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 社会起業部カフェチーム	●	●
5	北海道・東北	福島県立小名浜海星高等学校 商業部	●	●
6	関東	三浦学苑高等学校 普通科特進コース 三浦学苑ボスカー	●	
7	中部	富山県立滑川高等学校 薬学部	●	●
8	中部	福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ	●	
9	中部	岐阜県立加茂農林高等学校 森林科学科	●	●
10	中部	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	●	●
11	中部	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班・地域創造コース	●	●
12	中部	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	●	●
13	中部	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班	●	●
14	近畿	三重県立あけぼの学園高等学校 スポーツレクリエーション	●	
15	近畿	三重県立あけぼの学園高等学校 製菓製パン部		●
16	近畿	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	●	●
17	近畿	三重県立明野高等学校 あかりのプロジェクト	●	●
18	近畿	三重県立相可高等学校 農業クラブ	●	●
19	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ		●
20	近畿	三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP	●	●
21	近畿	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校 SBP		
22	近畿	三重県立水産高等学校 水高 SBP		●
23	近畿	三重県立紀南高等学校 きにゃんプロジェクト	●	●
24	近畿	京都府立海洋高等学校 海洋資源科 食品経済コース	●	●
25	近畿	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト実行委員会		●
26	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	●	●
27	中国・四国	愛媛県松野町 森の国まつの SBP	●	
28	九州・沖縄	佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部	●	
29	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	●	●
30	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS ² BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	●	●

●…アワード参加 ●…交流会出席

オープン参加団体

- 31. 青森県立青森中央高等学校 あすなろクラブ
- 32. 三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP
- 33. 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
- 34. 三重県立伊勢工業高等学校 美術部 SBP 班
- 35. 皇學館高等学校 皇學館高校 SBP 班
- 36. 佐賀清和高等学校 文化教養科 SBP

青森県立鰺ヶ沢高等学校

鰺ヶ沢高校SBP研究会

歴史と伝統を受け継ぎ、進化をめざし、鰺ヶ沢町を元気に!!



私たち青森県立鰺ヶ沢高等学校SBP研究会は、今年で活動7年目を迎えました。現在の部員は7名で結成当時の合言葉「鰺ヶ沢町をPRする」を受け継ぎ、活動しています。

これまで、「0歳からのSBP」、「地域活性化マン戦隊ショー」、セレクトギフト「鰺の味」製作、「力士くんおやき」販売、静岡県浜松学芸中高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」など様々な取り組みをしてきました。

コロナ禍で活動が思うように進まない状況ですが、セレクトギフトのリニューアルを目指した「新鰺の味」の製作を中心に「力士くんおやき」の販売と新メニューの開発、鰺ヶ沢版の胸キュンプロジェクト「鰺きゅんプロジェクト」、他団体との交流を進めています。

多くの方々に支援をしていただきながら、ここまで活動を継続することができています。感謝の気持ちを忘れず、失敗を恐れずに進化していけるようにどんどんチャレンジしていきたいと思います。

SBPの交流を通じて、たくさんのことを学びたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



青森県立三本木農業高等学校、青森県立三本木農業恵拓高等学校

農業クラブ執行部

地域活性化を三農から!

三農は今年で創立124年を迎えると同時に最後の年であり、三農恵拓が歴史と伝統を受け継ぎます。長い歴史で培った本校独自の農業教育は、私たち生徒の専門的な知識や技術の向上だけでなく、健康で豊かな人間性を育み、生きる力を身につける事に繋がっています。

私たち農業クラブ執行部は、日頃の授業で得たことを活用する場を提供し、知識や技術が定着するよう支援する組織です。また、地域の課題について多角的に分析し、解決に向けて数々の活動を展開しています。

今回チャレンジアワードで発表する活動は、地域活性化の志ある方々を繋げることでネットワークを構築し、課題に対して多角的なアプローチができると同時に持続的な働きかけができる体制をつくる【志合わせプロジェクト】。地域食材の魅力を最大限に引き出し、その魅力を多くの方々に広めることで、青森県の基幹産業である農業を、消費者が【食】で支える事を目的とした【志合わせプロジェクト】の2つです。

この活動は令和3年度現在で2年目であり、今年度も継続する予定です。本プロジェクトは、私たち生徒の成長だけでなく地域の方々に元気を与え、地域の未来を拓いています。また、多くの繋がりが形成されています。



仙台市立仙台商業高等学校

商業情報部

MORE SMILE ~子ども食堂でつながる地域の輪~



仙台市立仙台商業高等学校商業情報部は今年で14年目を迎え、現在部員27名で活動中です。私達は、地元への地域貢献を目指して、地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案する活動をしています。また、販売実習やボランティア活動などにも積極的に取り組み、地域の方々との交流も行っております。今回の私達の活動は、昨年の先輩方の活動を継続し、更に効果的な地域貢献をできないかと思い、県内の子ども食堂に着目しました。

子ども食堂とは地域の方々へ安価または無料で食事を提供する団体です。しかし、この子ども食堂がボランティア不足や資金不足などによる運営難が課題となっているニュースを知り私達は、子ども食堂の支援活動を行うことを決定しました。そこで私達は、シイタケのじく旨キーマカレーをはじめ、先輩方が開発した商品の販売先や商品の販売会の際に子ども食堂に関する情報のポスター掲示や呼びかけを行う予定です。さらに、持続的な活動にするため定期的に、地域の方々へ情報発信を行える場である「NPO法人ケアブレンド」様主催のケアブレンドカフェにて、子ども食堂の現状などを発信し、更に商業情報部のInstagramやホームページにて子ども食堂に関する情報を発信する活動を行いたいと考えています。

今後もこのような活動を継続して行い、地域の方々の拠り所である子ども食堂を持続させる活動を行っていききたいと思います。



福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

社会起業部カフェチーム

可能性はここから始まる! ~café ふうよ、変革者たれ~



ふたば未来学園は東日本大震災の影響によって現在休校となっている福島県双葉郡内の5つの高校の想いを受け継ぎ、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者たれ」という建学精神のもと開校した学校です。

そんな学校にある社会起業部カフェチームは「変化・交流・居場所が生まれるカフェ」をコンセプトに2019年6月に校内の地域交流スペースにオープンしたcafé ふうの運営を行う部活動です。活動内容としては放課後のカフェ営業をメインとし、フード、ドリンクの提供や接客から閉店作業まで責任を持って行っています。またそれだけではなく、café ふうの経営母体である一般社団法人たんぼの理事を務めたり、商業系列の生徒等は学校での学びを活かして会社の会計の仕事も行っています。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響でcafé ふうの営業は制限されることばかり…。双葉郡の皆さんや先輩方の想いを受け継ぎながら「私たちらしいカフェ」をこのコロナ禍でも作っていくことができないだろうか、そんな考えから私たちは学校・カフェを飛び出して地域の皆さんと様々な活動を通して積極的に交流を行ってきました。

どんな壁があっても、私たちの可能性は無限大! これからもカフェチーム一丸となってcafé ふうの可能性を模索し続けていきます。



福島県立小名浜海星高等学校

商業部

ふくしまソーシャルビジネスプロジェクト（SBP） ～小名浜から元気を全国へ発信～

令和3年4月に、小名浜高校といわき海星高校が統合して、小名浜海星高校が誕生しました。私たち3年生は統合前の小名浜高校の制服を着ている最後のメンバーです。

福島県は、東日本大震災により多くの方が避難を強いられた地域です。震災から11年が経過し、帰還した農家さんの高齢化や震災時の記憶の風化が大きな問題となっています。

震災後に高校生が開発した商品の販売や、農家さんと地元団体との交流を通じて活動を行っています。

また、子供世代との接点として地元果実を使った“わたあめ”の実演販売も練習中です。これは、福島県双葉郡の“ふたば未来学園高校スペシャリスト系列【商業】”のSBPを参考にしています。

より多くの方へ活動を広げるために、地元スーパーマーケットへのバイヤー活動も始めました。交流している農家さんの農産物を、スーパーマーケットへ取り扱ってもらえるように商談会を実施しています。私たち高校生が、SBPでみんなを元気にし、持続可能な社会を目指しています。

福島県いわき市小名浜地区唯一の高校として、福島県の元気と復興を発信しています。



三浦学苑高等学校

普通科特進コース 三浦学苑ポスター

高校生が見つける！地元の魅力再発見！

三浦学苑高等学校特進コースでは、総合的な学習の時間やほかの課外活動を通じて、横須賀の課題“人口減少”に危機感を抱いていました。

そんな中、浜松学芸中学校・高等学校地域創造コースの皆さんと協同する機会を得ました。“胸キュンプロジェクト in 横須賀”では、何気ない街の風景の中にある横須賀の魅力を、ポスター制作を通じて発信するという取り組みを実施しました。

早速、そこで学んだノウハウを活かし、横須賀市の観光資源である猿島を舞台に、ポスター制作を行い、横須賀市観光課の皆様と連携し、地域のショッピングモールでの展示をしました。

2回の活動を通じて、何気ない風景と観光地のそれぞれに横須賀の魅力があり、切り出し方によってはとても面白くそれを伝えることができると実感できました。

オリジナリティの少なさや、経験値の少なさなど課題はたくさんありますが、横須賀を高校生の視点で盛り上げていく、最初の一步を踏み出したところです。



富山県立滑川高等学校

薬学部

おコメのチカラを借りて^{まい}みんな米け！

私たちは薬学科というレアな学科に所属し、薬学部で活動しています。専門学科の特色を生かして活動していますが、なかでもミラコンという工業高校生の研究発表では商品開発に取り組み、最優秀賞や優秀賞を受賞するなど優秀な成績を収めています。また、滑川観光協会と一緒に滑川市のマスコットキャラクターさざりんの形をしたお菓子のバリエーションを薬学科らしい視点で考え、イベントで製作、販売をしています。

商品開発では、地元の前田薬品工業さんと「びーりっちゅプロジェクト」で5つの商品を共同開発しています。滑川の海洋深層水や富山県産の加水分解シルクを使用した化粧水・乳液やリップクリーム、お茶に含まれている殺菌・抗菌効果のあるカテキンを使用したアルコールフリーの泡消毒剤『おちゃぶる』です。

今回はそのびーりっちゅプロジェクトの新商品として、米に含まれる高い抗酸化作用や紫外線吸収効果を持つγ-オリザノールを使ったヘアオイルを共同開発しました。ミラコン2022では米ぬかに含まれるγ-オリザノールの有効性に注目して日焼け止めを製作しましたが、今回はγ-オリザノールの抗酸化性や紫外線吸収効果をさらに生かしたヘアオイルの商品開発に至りました。キャッチフレーズは富山弁の「みんないけ」の「まい」に「米」の字を当てました。「お米の力を借りようよ」という私たちからの提案です。おコメのチカラをとくにご覧あれ。



福井県立若狭高等学校

小浜未来構想学生グループ

地域と学生をつなぐ！E-space project の挑戦☆

こんにちは！小浜未来構想学生グループです。この名前での活動は今年で2年目になります。私たちの活動は4年前に始まりました。地域の方々とともに小浜の街をもっともっとあったかくて住み心地の良い、そして経済的にも持続可能な街にしていきたい！という思いを持った学生のアクションから始まり、「私もやってみたい！」という有志の学生が毎年参加している活動です。

これまでの活動で、食のまち小浜で、コロナ禍の飲食店の課題を解決するための活動に行ってきました。そこから派生したE-space project！元々は地域の飲食店にお客さんを呼び込み、尚且つ学生の学習場所を確保するアイデアとして生み出しましたが、このE-spaceを小浜市内のサードプレイスとして活用していくことで新たな発展も考えられるのでは？！とわくわくしています。

今年度の活動では、主にE-spaceに参加してくださる店舗を拡大すること、多くの人々にE-spaceの存在を知ってもらい、利用者を増やすこと、に焦点を当てて活動してきました。昨年度作成したホームページをより充実したものにしたり、店舗にかけていただくフラッグづくりに取り組んだりしています。

これらの活動を通して、地域のつながりを大切に、今後も魅力ある温かい地域づくりの継続に貢献していきます！



岐阜県立加茂農林高等学校

森林科学科

持続可能な森づくりに向けた 「星の見える森づくり」(里山千年構想との協働)

美濃加茂市が実施する里山整備事業との協働活動として令和2年度より実施。毎年森林科学科の3年生が主体となり、自治体・企業・森林組合など多様なセクターとの協働による「持続可能な里山づくり」を目標に活動を行っている。常に人の手が入り維持管理が必要な里山は全国に約40%存在する。現在その殆どの里山は人手不足や環境資源への関心の低さなど様々な要因によって手入れが行き届かず獣害や土砂災害、多様な生物環境の喪失など地域に重大な課題をもたらしている。その課題に対し①里山の重要性和地域が大切にしてきた想いという根本の理解②現状課題の理解③科学的アプローチによる解決策の検討④具体的な整備活動⑤地域住民へのパブリックリレーションと地域ぐるみの持続可能な活動への発展、これらの点をポイントに活動を行っている。今年度は⑤を重点に活動していく。

前年度までの活動を引き継ぎ「星の見える森」をテーマとし、森に常時人が入りかつ利用できるレクリエーションの場所として森をゾーニングし整備する。敢えて高校生単体の活動でなく「多様な人々との協働」を持続可能な社会の土台と考え本活動の最大の目標にしながら、市民と共に千年続く里山を考える場と機会を創出していくことを目標にしている。



静岡県立島田商業高等学校

地方創生 SHIMASHO

10年後への種まき 高校生の若さとアイデアで住み続けるまちづくりを目指す！

本校では、文武両道を掲げ、検定取得や販売実習、部活動での活躍に力を注いでいます。また、商業で学んだ知識を活かし、高校生の発想で地方創生に繋げようと様々な活動に取り組んでおります。

特にここ最近では、地域イベントにおける企画・運営からの参加、被災地の訪問及び復興支援商品の仕入販売などを行っています。

5月28・29日に島田市蓬莱橋で開催されたイベント「蓬莱橋ぼんぼり祭り」では、島田市を知ってもらう機会だと考え、島田市及びイベントに向けたPR活動として

①「蓬莱橋ぼんぼり祭り」のポスターやチラシを美術部に依頼し作成し、駅に掲示。さらに、チラシを沼津駅で配布し、島田市への来訪を促しました。

②「島商生が足で廻ったMAP」を製作し、駅と蓬莱橋に向かう本通商店街を中心に、島田市内の観光名所や飲食店、和菓子屋などを取材し、クーポン券を付けることで、滞在時間の延長やリピータの促しを試みました。

急に少子高齢化や商店街の衰退が改善されることは難しいため、10年後の種まきとして、地域に根差した活動を行っていければと考えております。



浜松学芸中学校・高等学校

社会科学部地域調査班・ 地域創造コース

高校生発！広告代理店～地域の魅力発信してます～

社会科学部地域調査班は、これまでポスターや動画制作、パフォーマンスやイベントで地域の魅力を発信する活動に取り組んできました。7年前、たった5人の先輩達から始まった私たちの活動でした。

私たちの活動が地域に認められ、いよいよこの魅力発信活動は、広告代理店として様々な企業のPRやプロモーションを担当する活動へと発展しました。続々と集まる依頼、妥協できないクオリティ、新しい挑戦……。そんな数々の困難を乗り越え、どのように私たちが地域企業と協働しているか、その秘密を公開します。

地域の魅力を発信する「高校生発！広告代理店」の活動は、さらなる発展の段階にさしかかっています。私たちの活動報告は、なぜ毎年違うことをしているのか、その秘密が明かされます。

また現在、多くの依頼を頂いている浴衣パフォーマンスも、いよいよ皆さんの前で初披露！浴衣 DeNight で踊らナイト



中部大学春日丘高等学校

インターアクトクラブ

地域のやさしさを子どもの学びにつなぐ 「つなぐっず」で未来をちょっと豊かに

「子どもたちが無邪気に遊ぶ、ひみつきちのような楽しく学べる場所にしたい！」これが私たちの無料塾、「みんなのひみつきち」の目標です。春日丘高校インターアクトクラブは障害児者・高齢者・幼児児童・地域のイベントなど、幅広いボランティア活動を行っています。その中の一つが学習支援活動です。勉強が苦手、一人では勉強できない、障害を持っている、もっと勉強がしたいなど、勉強に対する何かの思いを持っているすべての児童生徒を対象に、高校生が運営して、高校生が先生となる無料塾「みんなのひみつきち」を行っています。

無料塾なので塾の生徒さんからお金をいただくわけにはいきません。ただ、よりよい指導を目指すには経費がかかります。

そこで考え出されたのが「つなぐっず」の販売です！これは地元の店舗に、売り上げの10%程度が無料塾「みんなのひみつきち」の寄付になるような商品を設定していただき、その商品を買っていただいた方から広く支援をいただくというシステムです。私達は協力店舗と協力商品のPRを行い、地域経済の発展も目指します。さらに、「つなぐっず」を消費期限が迫った食品などに設定してもらうことで、フードロス対策にも繋がっています。

地域で子どもたちの学びを支え、経済を支え、環境を支える、支ええられる無料塾、それが「みんなのひみつきち」です。



愛知県立高浜高等学校

地域活動部 S B P 班

つなげてみりん！～Sの絆焼きで地域にエール～

高浜高校地域活動部 S B P 班は、6年前から「Sの絆焼き型」の製作・販売に取り組んできました。「Sの絆焼き型」とは、オリジナルデザインが可能なたい焼き型です。「Sの絆焼き型」は、お客様から依頼されたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にして、市の主要産業である自動車部品工場が金型を彫り込むという工程を経て製作しています。これまでに、全国7都道府県に11台販売してきました。一昨年は、愛知県のプロバスケットボールチームであるシーホース三河さんと協力して、「タツツ焼き」の販売を行い、その利益で地元の子どもたちを試合に招待したり、子ども食堂にタツツ焼きを提供したりするプロジェクトに取り組んでいます。また、他のバスケットボールチームにも焼き型を販売し、さらに笑顔の輪を広げていくために、新しいタツツ焼きの焼き型を製作したいと考えました。そして、3500個の販売目標を達成し、現在、新しい焼き型の製作に取り組んでいます。「タツツ焼き」を販売していると対戦相手の応援にいらっしゃったお客様からも声を掛けていただいたり、SNSなどで応援のお言葉をいただいたりすることもあり、とても励みになっています。

B to Bから、さらにB to Cまで笑顔の輪が広がり、「Sの絆焼き」を通してたくさんの方々をつなげていきたいと思います。



三重県立あけぼの学園高等学校

スポーツレクリエーション

忍者の町、伊賀より
～地域に愛される「忍にん体操」で、輪を広げるの巻～

あけぼの学園高校は、「強く、明るく、まごころで」という学校スローガンのもと、様々な教育活動に取り組んでいる。健康福祉系列「スポーツレクリエーション」という授業の取り組みの1つを、今回は紹介したい。その名も、「忍にん体操」。この体操は、市民の体づくり体操であり、地域の幅広い年齢層から愛されてきたものだ。

この取り組みの目的は、「忍にん体操」を通じて、体力増進と健康維持を目指すこと、そして、この体操に、あけぼの学園高校のアレンジを新たに加え、地域に発信することだ。

アレンジをする際に大切にすることは、この体操がもつ特性、すなわち、「忍者らしさ」を際立たせること。生徒は、忍者の機敏な動きに着目し、その動作を随所に織り交ぜた。授業には地域より、忍にん体操普及会の皆様にお越しいただき、一緒に体を動かしながら試行錯誤を繰り返した。また、地域の保育園にも出向き、生徒が先生として、保育園児に、この体操を教える交流会も複数回実施した。

地域の方々とコミュニケーションを取ることで、学びが深まることを体験学習できた活動である。



三重県立あけぼの学園高等学校

製菓製パン部

パンでつなぐ地域の環～地域活性への取り組み～

あけぼの学園高等学校では、美容服飾・製菓調理・健康福祉・情報教養の4つの系列があります。その内の製菓調理系列を選択した生徒が多く所属する製菓製パン部では、和菓子・洋菓子・パン作りを学んだり、学んだことを生かしてメニューを考え、コンクールに応募したりと様々な活動に取り組んでいます。

今、日本では都会化の影響などで地域内でのつながりが希薄化しています。そこで、地域の人々と関わりながら、地元にある食材を使って、地域を活性化させたいと考え、地元伊賀市の特産品である黒豆や地元で作られた甘酒、地元の酒造から頂いた、歩合調整の際に米を削ってできる、まだ食べられるのに捨ててしまう米ぬかなどを使用したパンを開発しました。また、この取り組みを続けることで、地産地消の普及にもつなげていきたいと思っています。

何度も試作を重ね、香ばしい米ぬかの香りと優しい甘酒の香り、そして甘く煮た黒豆が合わさったとても美味しいパンが出来上がりましたので、ぜひ召し上がってみてください。また、他にも試作したパンを販売する予定ですので、そちらもお楽しみに！



三重高等学校

ダンス部 SERIOUS FLAVOR

ダンスで未来を切り開く！あたいらのダンスで日本中を元気に！

私たちは、三重高校の校訓である「真剣味」をもじって「SERIOUS FLAVOR」という団体名で活動をしています。(通称：シリフレ)

入部者の6割がダンス初心者という、珍しい部活ですが、“ダンスを楽しむ！”という事を大事にし、「チームワーク」はもちろん、「ノリと勢い」や「他校ダンス部にはない独創的なアイデア」を武器に、全国大会等で戦っています。

シリフレの基本的な活動は以下の3つです。

- ・全国大会に繋がるような「コンテスト・大会への挑戦」
- ・学園祭、オープンスクールなどの「学校行事での発表」
- ・地元のお祭りや、幼稚園や小学校でダンスを披露させていただく「地域での活動」

頂いたご依頼は全て断らずに引き受けるという「若手芸人スタイル」でバシバシ活動しています。他にもアーティストのバックダンサーや、テレビ出演など、様々なメディアでも活動させていただいています。

最近では、企業様のPR動画を企画、振付、撮影、編集まで全てシリフレが行うという依頼が頻繁に入るようになり、ご好評いただいています。私たちのアイデアや青春を感じる爽やかなダンスが、企業さまと高校ダンス部を結ぶ新たな懸け橋になると考え、応募させていただきました。



三重県立明野高等学校

あかりのプロジェクト

伊勢あかりのぼーくで地域を明るく
～地域企業と連携したブランド豚の開発～

2017年より、地域から愛されるブランド豚づくりの活動を開始。開始年度に本校で生産する豚肉を「伊勢あかりのぼーく」という名で、商標登録し、活動をスタートさせました。ブランド化に向けて、地域食品企業から排出される未利用資源を給与するなど他の豚肉との差別化をはかってきた他、企業と連携した様々な商品開発や地域でのイベントを企画し、地域へ向けて活動を発信してきました。

昨年は、これまでの自校でのブランド力向上へ向けた活動を通して、学んできた内容を地域に還元する事を目標とし、三重県内の養豚農家が肥育する2つのブランド豚との連携を企画。松阪豚と伊勢あかりのぼーくを使った商品開発に調理や流通を専門に学ぶ2つの高校と合同で取り組みました。商品開発では、それぞれの高校が生産、調理、流通の専門分野を生かし、生産から流通を協力して行い、開発した商品を地域のスーパーなどでの販売イベントを通じて、地域内外へ広く発信し、豚肉の付加価値向上に努めました。現在も様々な場所で販売し、多くの方に喜んで頂いています。

地域の方々を笑顔にする活動をこれからも続け、伊勢あかりのぼーくを地域から愛されるブランド豚にしていきます。



三重県立相可高等学校

農業クラブ

SBP交流フェア 10年間の歩み



今回の交流フェアで皆様に伝えたいことが2つあります。1つ目が、相可高校農業クラブが地域の企業や団体などと連携し地域課題を解決するために開発したいろいろな商品の紹介と開発した経緯です。例えばハンドクリームやシャンプーなどのコスメは地域の農産物を取り入れたコスメとなっています。また、芍薬の産地化を目指した取り組みでは芍薬と大台町の樹木の精油を使ったフレグランスを完成することができました。さらに伊勢茶と宇宙大豆を使った商品、バイオマス栽培の研究から開発したバジルでバイオバジルオイルなどの開発にも成功し、地域貢献ブランドとして確立することができました。

2つ目が全国高校生SBP交流フェアの運営についてです。私たち相可高校農業クラブは全国高校生SBP交流フェアを第1回大会から運営してきました。現在、第7回まで実施されてきましたが、実は第1回大会の前に多気町でSBP交流フェアの前身である「Sの交流フェア、Sセレクション」を第3回まで運営してきました。この運営がSBP交流フェアの礎となってもいます。これらの経験についても今回の交流フェアで皆さんに伝え、評価していただきたいと考え参加しました。

相可高校農業クラブが取り組んできたSBPの活動と全国高校生SBP交流フェア10年間の運営の歩みをご紹介します。

三重県立相可高等学校

食物調理科 調理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」！

相可高校食物調理科では、「食のプロフェッショナル」に求められる力を「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」を3年間で学びます。

総合的な「食」の技術習得、発信の場であるのが高校生レストラン「まごの店」であり、地元の生産者、農産物直売施設「おばあちゃんの店」の食材を使用し、オープンキッチンで調理することで食の安心・安全、トレーサビリティ、地産地消をねらいとしたレストランです。

活動の主体は「調理クラブ」で、開店以来、毎営業日には、いつも満員の大繁盛で、生徒たちが約30人体制で交代して運営を行っています。

献立は、季節の食材をてんぷらや煮しめにした「花御膳」と、地元多気町産の伊勢いもを練り込んだとろろ麺が名物の「まごの店定食」、地域の名産松阪牛を使った「松阪牛すき焼き茶漬け定食」、尾鷲特産の真鯛をごま醤油に漬けた「尾鷲の真鯛茶漬け定食」など地元食材をふんだんに使った料理を提供しています！



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎・度会校舎

南伊勢高校 SBP

～ふるさとを愛する私たち高校生ができること～

南伊勢高校南勢校舎では、岸川政之さんのご講演をきっかけにまちづくりへの気持ちが高まり、全国で最初のSBPが発足しました。発足して今年で10年目という節目の年を迎えます。私たちの活動が全国にも広がっていることが非常に嬉しいです。

今年度は、「南勢校舎」と「度会校舎」の2校舎合同で交流フェアに参加します。南勢校舎SBPは、町のゆるキャラ「たいみー」の形をしたたい焼きである「たいみー焼き」を販売しており、今年度は「うみべのいえキッチン」という場所で販売します。度会校舎SBPは、「プロジェクションマッピング」に力を入れており、動画作成、上映を中心に活動を行っています。YouTubeにおいても作成したプロジェクションマッピングを視聴できます。是非ご覧ください！

また、昨年度は「中国河南省との高校生動画交流会」に参加し、中国河南省の高校生たちとオンライン動画交流会を行いました。この交流会では事前に、「自分たちの地域の魅力を相手県省へ伝える動画」を制作し、交流会当日に相手県省の高校生が採点して優秀作品を決定するを行いました。審査の結果、南勢校舎は「最優秀賞」、度会校舎は「努力賞」を受賞しました。

「ふるさとを愛する私たち高校生ができること」——。今後も自分たちのワクワクすることを第一に多くの活動を行っていきます！！



三重県立水産高等学校

水高SBP

水産高校にしかできないこと

水産高校は、志摩半島のほぼ先っぽに位置する三重県唯一の水産を学ぶ高校です。

4つのコースに分れて、海の生物を育て加工したり、船のエンジンのことを学んだり、時には長期間の航海に出たりして、大きな海を舞台にたくさんの知識や技術を身につけています。

今回、わたしたちが販売する「カツオのキーマカレー」をはじめとする商品は、海洋・機関の各コースが長期航海で釣り上げたカツオを、どうすればもっとおいしく食べられるか、どうすれば地域の魅力を伝えることができるかという視点で水産資源科の先輩方が商品化したものです。とてもおいしいのでぜひ手に取ってみて下さい。

わたしたちは、初めてSBP交流フェアに参加させていただきます。全国の参加校のみなさんからたくさんのことを学び、先輩たちのように「この地域を元気にする私たちにしかできないこと」を作っていきたいと思っています。

よろしくお願いします。



三重県立紀南高等学校

きにゃんプロジェクト

しんじろ！ちから～地域とともに～

私たちの紀南高校は三重県の最南端に位置し、海、山、川などの豊かな自然に恵まれた環境にあります。コミュニティ・スクールとして、今までたくさんの地域の方に支えられ、2021年に創立60周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症のまん延によって、たくさんの活動が中止になる中、地域の方々に活動の場を与えていただき、私たちはお菓子の開発と手作りTシャツの作成に取り組みました。

お菓子の開発では、熊野エリア道の駅協議会の皆さんとコラボレーション企画を進めました。国土交通省紀勢国道事務所から情報取材した「太平洋岸自動車道」のPRのために紀南高校のキャラクターである黒猫の「きにゃん」と白猫の「きにゃこ」のイラストを入れて、「クリームサンド」を開発しました。また、「きにゃこ」から連想できるきなこ味を提案して、紀南高校のアピールにも繋がりました。

オリジナルTシャツの作成では、就労体験で先輩が作ったデザインを使用し、お借りした機械で一枚一枚印刷しました。サイズも色もデザインもバラバラの一つしかないTシャツに仕上げる事が出来ました。

これらの取り組みで出来上がった商品を地元の道の駅で販売しました。実際私たちが店頭に立ち、全て完売することが出来ました。今後もこれらの地域との連携した活動を継続させ、町の発展に貢献していきたいです。



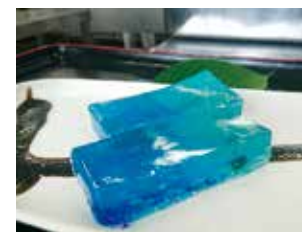
京都府立海洋高等学校

海洋資源科 食品経済コース

実は近畿大会、全国大会の常連校なんです。

コロナ禍の中、私たちは、「おうち時間の充実」をテーマに、多くの新製品の開発に勤めました。そして、令和3年度は「高校生スイーツレシピチャレンジ」で2作品が入賞するなど、多くの近畿、全国レベルのコンテストで入賞することができました。これらの入賞の背景には、地域の方々から、「海洋高校ならなんとかしてもらえ」というありがたいお言葉とともに、地元の漁業関係者だけでなく、農業関係者の方々からも、多くの地元の食材が本校に提供していただけたことがありました。しかし、「海洋高校＝缶詰」「海洋高校＝干物」のイメージが強いためでしょうか、多くの全国大会やブロック大会での入賞が評価されてきませんでした。

また、水産業の衰退に伴い、本校の志願者数も年々減少傾向にあり、中期志願倍率は0.72(R4年度)であり、しかも自宅外生の生徒が52%と、地元の中学生に人気があるとは言えない学校となっています。特に、これまで地元密着で運営してきた食品経済コースが大きな影響を受ける結果となりました。そこで、これまでの水産・海洋系高校のイメージを一新し、新しい京都府立海洋高等学校について発信する必要があると考えました。そして、これまで開発したレシピやスイーツを積極的に全国PRし、新しい海洋高校についての理解を深めてもらいたいと思います。



大阪府立鶴見商業高等学校

地域連携プロジェクト 実行委員会

2025年！集まれ大阪に！ 「緑地公園応援ソング！・プラゴミ削減ソング」を作曲しました！

本校は、1990年「国際花と緑の博覧会（花博）」の開催地で有名な「鶴見緑地公園」に隣接した緑豊かな商業高校です。この4月から大阪市立から大阪府立に変わりました！それに伴い私たちの活動もバージョンアップする予定です！私たち「地域連携プロジェクト実行委員会」は、「鶴見区を元気に！」をモットーに、商品開発・販売実習を中心に活動をおこなっています。

現在までに、地元の商社・スーパー・メーカーと協力して、炭酸飲料の開発・販売や、大阪市鶴見区役所のマスコットキャラクター「つるりっぷ」とコラボしたLINEスタンプの制作をおこないました。昨年までは地域活性化の一環として、2025年大阪万博でサテライト会場として利用される鶴見緑地公園にもっと多くの人たちが集まるように、部活動の生徒たちと協力して作詞・作曲・編集した曲を配信しました！

SBPでは、鶴見区の広報を目的に開発した「つるりっぷパン」を販売します！販売期間12年目を迎える本校の定番商品、かつ鶴見区の名物です！「鶴見緑地公園応援ソング！」を聞きながらご賞味あれ！



和歌山県立神島高等学校

商品開発プロジェクト「神島屋」

紀南でスタディケーション！
～大学生と地域を繋ぐ着地型観光～



本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で105年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

地域づくりや地域活性化に興味を持っている大学生をターゲットとして、地域の方々と深く関われる着地型旅行プランを企画しています。農作業体験や釣りなどのレジャー体験、地域での生活体験を通して、地域を支えている様々な方々と交流の機会を設けることで、参加者に地域とつながるきっかけを用意したいと考えています。公式のSNS等を準備作成し、旅行前から地域に関する情報を提供することでより興味を持って参加してもらえるようにすると同時に、旅行後も継続的に地域との関わりをもってもらえるようにフォローできる仕組みとします。さらに、旅行参加者を対象としてKinan通信（商品付きの小冊子）やKinan-Meeting（無料でのオンライン交流会）などの企画を実施することで、地域との関わりを深めてもらえるように考えています。



愛媛県松野町

森の国まつのSBP

私たちの！松野高校プロジェクト

私たちの住む松野町は人口約3700人の愛媛県で規模が一番小さな町です。そんな松野町は「森の国」と呼ばれており、その名の通り、総面積のうち66%が森林であります。

もともと松野町は宇和島と土佐の交易で栄えた「宿場町」でした。松野町は高知県との境に位置しており、旅人の多くがこの松野町で旅の疲れをとっていました。その名残として松丸街道があります。かつて松丸街道には宿屋や商店が立ち並んでいましたが、今現在その賑わいは昔ほどありません。

また、松野町にもかつて高校はありましたが、現在では松野町に高校はありません。それでも、高校生はいます。その高校生が松野町の賑わいを再創出するために、松野高校という組織ができました。

自分たちの活動は、地元の高校生が地元を舞台にふるさとを活性化していくという活動です。私たちは「宿場町」をイメージし、これから「ホテル」を創り経営していこうと考えています。まだ誰も体験したことのない、ホテルを、地域の方や、今私たちの動画を見てくださっている皆さんのアドバイスを参考に力を借りて創っていき、私たちはふるさとをもう一度活気のある町にしていきます。



佐賀県立伊万里実業高等学校

フードプロジェクト部

食で伊万里を元気に！チャレンジSDGs！



私たちフードプロジェクト部は、地域の食材を使ったお菓子を開発するなどの活動をおこなっています。地域の農家から規格外の農産物や廃棄される部分を譲り受け、お菓子に加工しています。

規格外の食材を無償で提供してもらうことで、コスト削減につながるとともに、地域食材を有効活用することで、食品ロス削減・地産地消の推進・地域の魅力発信に取り組んでいます。

また、昨年度からは伊万里市で初となるフードドライブを開始しました。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめた地域に寄付する活動です。

集まった食材を用いてお菓子を製造し、地元NPO法人と共同で、地域の児童クラブや一人親世帯に届ける取り組みを行っています。

また、フードドライブで集まった食材を活用して、お菓子作り教室を開催するなど、食文化の継承だけでなく、SDGsの推進にもつなげています！



熊本県立天草拓心高等学校

天草拓心高校SBP部

天草の魅力（絆）で日本に元気を！！

天草拓心高校SBP部は今年で発足4年目になり、今年度から部活動になりました。私たちの住む天草は海に囲まれた歴史と文化のある自然豊かな場所です。ここ最近では少子高齢化と過疎化が進んでいると問題視されています。そこで、僕たちのような地元の高校生が、ここ天草に残りたい、また戻ってきたいと思える場所にするため、天草を盛り上げていきたいと思い、活動を行っています。

現在あまりん焼き（Sの絆焼き）と防災用非常食の開発販売に取り組んでいます。あまりん焼きのデザインは、天草の有名な「イルカ」と、天草の市花である「はまぼう」を組み合わせたもので、一目で天草の魅力が伝わるものにしました。このあまりん焼きを地元イベントで販売しました。そこで得た収益は、これからの天草を盛り上げる活動に役立てていきます。

防災用非常食は三重県の南伊勢高校と共同で取り組み、天草の郷土料理である「せんだご汁」を非常食として形にすることができました。現在は、「食の天草にじ」様と「職彩工房たくみ」様に製造のご協力をいただき、非常食の生産を行い、販売まで至ることができました。

これらの活動を通して私達の大好きな天草の魅力をより多くの方々に知っていただけるよう精一杯努力していきます。



沖縄県西原町

NS²BP (西原町学生ソーシャル ビジネスプロジェクト)

西原町は何もないだって!?いや、俺らがいる!!!

ハイサーイ! ワッター NS²BP (エヌエスピーピー) ヤイピン! 私たちのまち西原町は、人口約3万5000人で県庁所在地的那覇市からほど近い場所に位置し、幼児教育から大学教育までの一貫した教育施設に恵まれ文教の町とも呼ばれています。私たち NS²BP は今年で発足9年目となり、西原町を愛している高校生で活動している団体です。現在、県内13校から集まった35名で構成されており、地域各団体をはじめ、地元企業、琉球大学、NS²BP 卒業生らの助けを借りながら日々楽しく活動しています。さらに「高校生だけ」で企画・運営・活動費の調達を行い、商品開発、国際交流、地域ボランティア活動、創作演劇など地域の活性化に努めています。また、地域の市場での販売活動も行い地域の方々との繋がりを深めています。私たちは、かつて西原町の特産品であった「サトウキビ」に注目し、サトウキビの汁が入った万能ダレ作りに取り組んでいます。試作を重ね研究し、おいしく仕上がりました。ネーミングにもこだわり誰もが手に取りたくるような商品ができました。今後も NS²BP が西原町を盛り上げ西原町の良さを全国に広めていきます。そして新しい特産品として、現在作っている万能ダレをふるさと納税の返礼品にできればと考えています。NS²BP が西原町を含め沖縄の魅力を魂込めてお伝えします。



三重県立昂学園高等学校

昂学園 SBP

「大台町」から魅力発信!

本校は、総合学科として特色ある5つの系列があります。

本校がある大台町は、ユネスコエコパークに登録されている町ですが、過疎化、高齢化等の地方問題を抱えています。地方の問題解決が日本の発展につながると考え、課題解決に取り組みたいと思っています。

今回はじめて SBP 交流フェアに参加します。これからメンバーを募り、来年にはアワードに参加し、皆さんと交流が出来るように頑張っていきます。



三重県立伊勢工業高等学校

美術部 SBP 班

挑戦する年

伊勢工業高校美術部 SBP 班です。

普段は美術部で絵を描いたりプラモデルを作ったりしながら活動しています。

SBP の活動には一年生の頃から参加し始めました。

学校の文化祭ではプロジェクトマッピングの制作や投影を行ったり、今年の5月にあった松阪マラソンのキックオフイベントでは、映像を映すためのプロジェクターの設置を担当しました。今回の SBP 交流フェアでは楽しむことと、いろんな人の考えに触れていきたいです。よろしくお願いします。



青森県立青森中央高等学校

あすなろクラブ

あおもり♡ LOVE



みなさん、初めまして。私たちの学校は、総合学科で5つの系統があり、とても個性豊かな生徒が多いです。また、1904年に創立され、今年で116年目を迎えた長い歴史と伝統があります。



そのような本校で今年度から SBP 活動を行う「あすなろクラブ」が発足し、現在20名以上で活動しています。今回のフェアには見学として参加しますが、全国の取り組みを学び、これから皆さんと、どんどん交流できればと思っていますので、よろしくお願いします!

三重県立松阪商業高等学校

松阪商業高校 SBP

現代の松阪商人になる!

松商 SBP は、6年半前、松阪商業高校が SBP 活動を担っていくために設立された同好会です。設立当初は7名で活動し、現在は18名で活動しています。

松阪商人を輩出した松阪市にある松商 SBP は、『現代の松阪商人になる!』という目標を掲げ、「つくる」、「つながる」、「まなぶ」、の3つを活動の柱として、地域の特産品を活用した商品開発や県内外の様々なイベント活動に参加して、松阪地域の PR 活動を行っています。



皇學館高等学校

皇學館高校 SBP 班

地域の課題探究に取り組んでいます!

本校は皇學館大学の附属校で、進学コース・特進コース・六年制コースの3コースからなる普通科高校です。進学コースは令和4年度2年生から「国公立・教育系」「私大・進学系」「医療・看護系」「進学理系」に分かれ、それぞれの進路目標に応じて、キャリア・プログラムに取り組んでいます。

中でも「私大・進学系」のプログラムの大きな柱として、学校所在地である伊勢市が抱える課題を発見し、自分たちで探究し、解決策を提案したり、ボランティア活動に参加したり、地域と一体となった活動があります。

今回は全国の高校生の取り組みを見学し、これからの活動に生かしたいと思います。



佐賀清和高等学校

文化教養科 SBP

SBP を取り入れた授業を実施しています!

佐賀清和高校は佐賀県にある私立学校です。明治44年の創立以来、受け継がれる伝統として「和顔愛語」を実践目標として生徒たちは明るい笑顔と思いやりのある優しい言葉遣いで、礼儀正しい生活を心がけています。

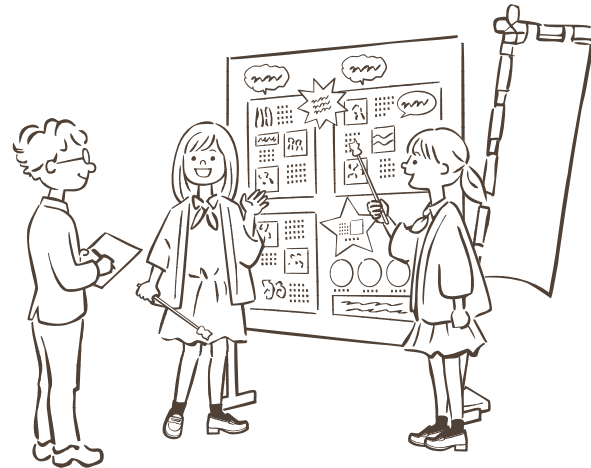
SBP の取組に興味を持ち、現在 SBP の考え方を取り入れた授業を1年生にて通年で実施しています。今回は見学で参加させていただき、他校の取組について学びたいと思います。



誰々と受け継がれてきた伝統や文化、
 豊かな食卓に囲まれた伊勢志摩という地で
 さまざまな人々と触れ合い、
 地域の課題に向き合っていく。
 果敢な視点としなやかな態度で、
 もともとあるものを大切に守りながら、
 未来の魅力を発見し、
 新しい価値を生み出していく。
 それが、これからのわたしたちの役割だと、
 地域の活動で気づくことができた。
 この地を愛し、変えていくことから、
 未来を築き始めるようになった。
 大らかに、深く、奥深く、奥深く、奥深く。
 伊勢志摩という教科書は、
 いつもわたしたちに多くのことを教えてくれる。

伊勢志摩、
という教科書。

皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校
三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201 (代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>



今までも、これからも。 私たちにできること。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

英語で聞き放題・読み放題 **eステ**
コスモピア eステーション

コスモピア株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-36-4 MC ビル 2F
tel: 03-5302-8379 fax: 03-5302-8399

- ◆コスモピア eステーション: <https://e-st.cosmopier.com/>
- ◆子ども英語ブッククラブ: <https://kids-ebc.com/>
- ◆eステ Kids: <https://e-st.kids-ebc.com/>

Facebook: <https://www.facebook.com/CosmoPier> Twitter: @CosmoPier

印刷 広告 ホームページ 動画

お客様に必要とされる
会社を目指して
Inside Brain

I・BRAIN

株式会社 アイブ레인

本社 〒516-0017 三重県伊勢市神久 3 丁目 5-67
TEL 0596-27-1111 FAX 0596-23-0125
<http://IBRAIN.mie-net.ne.jp>

伊勢名物 **赤福**

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) フリーダイヤル 0120-081381
<https://www.akafuku.co.jp>

SYD
みんなの幸せを願う『幸せの種まき運動』を
全国的に展開しています

SUPPORTING YOUR DREAMS

SYD 伊勢青少年研修センター

伊勢市宇治今在家町 153
TEL 0596-25-0265
FAX 0596-25-0309
HP <https://syd.or.jp/ise/>

NARUMI
いいもの、いつも、いつでも

鳴海製陶株式会社
〒458-8530 愛知県名古屋市中区鳴海町伝治山 3 番地
Tel.052-896-2200

三重ナルミ株式会社
〒517-0218 三重県志摩市磯部町築地 1524-1
Tel.0599-55-2113

NARUMI Factory Shop
営業時間 10:00 ~ 16:00 (土・日曜日も営業)
Tel : 0599-55-3637

くらしの中に
上質でしあわせな時間をつくり
みなさまを笑顔にする。

NARUMI公式サイト

NARUMI出店サイト

心、おどる、デジタル

人の創造性を解放し、自由な発想をカタチにすることで、
課題解決の向こうにあらたらしい明日を創ります。
それが、アドビのクリエイティブ・デジタルトランスフォーメーション。

ユーザーを真に理解し、変化を先取りして
一人一人に合ったコンテンツ制作やクリエイティブで迅速に対応。
また、仕事の進め方や手順を常に見直し、継続的な事業の革新と創造をサポートします。

解決力から創造力へ、
心にひびく、社会がつながる、幸せなほうのデジタルを、アドビと。

Adobe

ワクワクする毎日を。

ENCHANTÉ

株式会社アンシャンテ

〒510-8034 四日市市大矢知町 1425-6
TEL 059(361)2040 FAX 059(363)3569

NEXCO 中日本サービス株式会社

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷銅機ビル5F
☎052-222-9991 <https://c-nexco-svc.jp/>

人がつなぐ
その先へ

BSよしもと
- BS265ch -

テレビでもスマホでもPCでも
無料でBSよしもと!

絶賛放送中!!

地方創生をテーマにしたチャンネル
「BSよしもと」が開局!

bsy.co.jp

NT GROUP

エヌティーテクノ株式会社
〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

エヌティーツール株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

エヌティーエンジニアリング株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

エヌティー精密株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191

株式会社 相可フードネット

せんぱいの店

マックスバリュ多気店
三重県多気郡多気町仁田 750

人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

百五銀行
FRONTIER BANKING
インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING

調査業務 コンサルティング業務 会員制度 主な定期刊行物

幅広い分野で、
お客さまのニーズに
お応えします。

HRI 株式会社
百五総合研究所
TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380
URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp

お父さん、秘密基地
欲しいんでしょ？

コンテナ・トレーラーハウス専門店
『KAKUREGA』



見方を変えると、
未来が見えてくる。

0→1
MAKE IT HAPPEN

三井化学
www.mitsuichemicals.com



味にまじめ
素材にまじめ

たいやき
わらしべ



「人の幸せの在り方」を問う、社会派コメディー
法定相続人 (仮)
～人生でいちばん影響を受けた本、それは銀行の預金通帳である～
2023年 公開予定!!



FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン(株)
〒514-8578 三重県津市栄町 1 丁目 817 番地
TEL 059-228-7561



IT × 教育で地域を **元気** に。

地域活性をITとデザインで支援
地域課題へのIT技術の活用 / システムエンジニア研修・プログラミング教育

みらいこ株式会社
〒516-0074 三重県伊勢市本町8-11 info@miraico.co.jp




LINE 公式アカウント

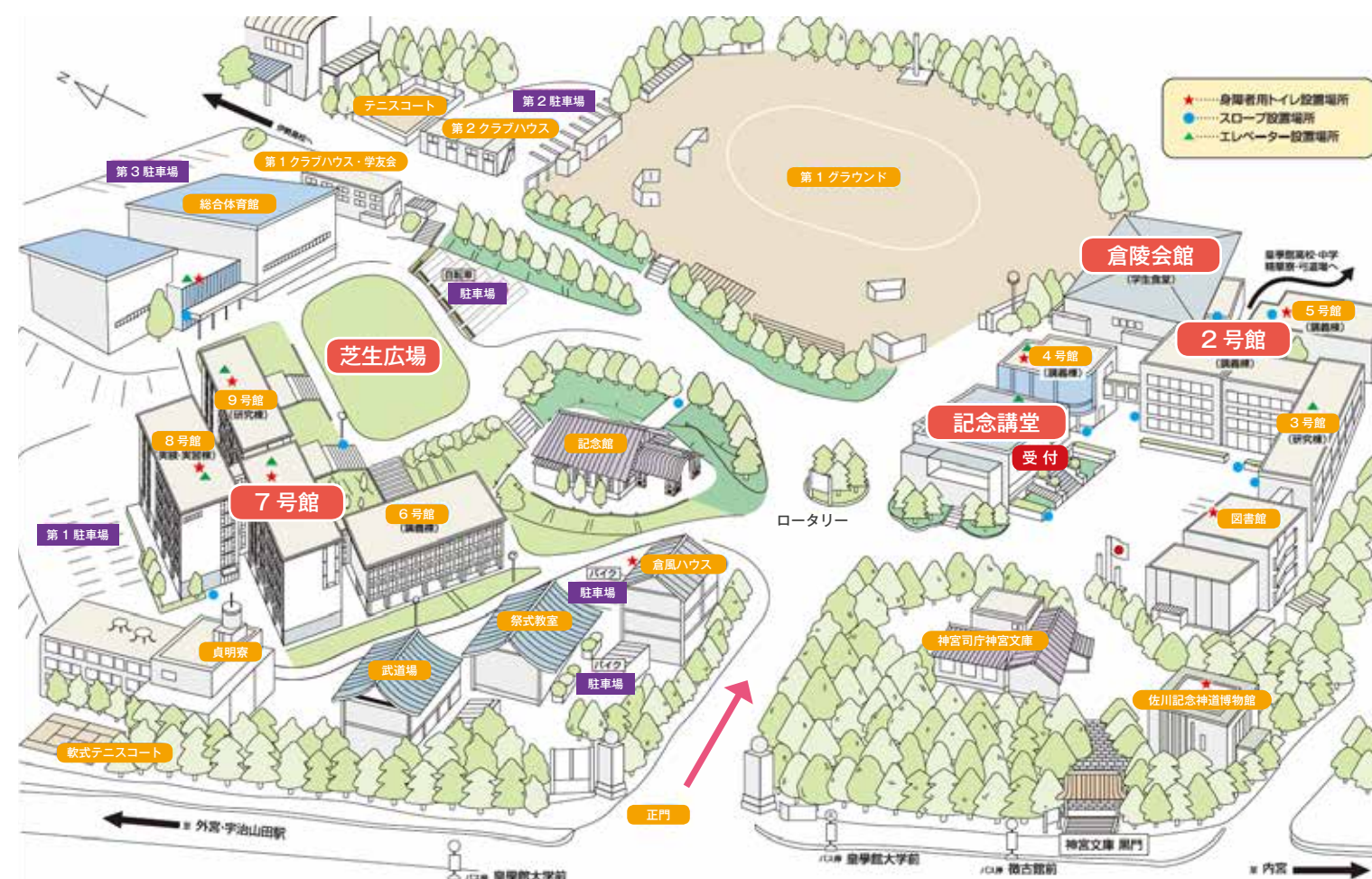
**友だち
募集中**

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

@090wiccu



会場MAP



記念講堂

8月20日(土)

- ロビー**
○受付
- 講堂**
○オープニング
○SBP チャレンジアワード決勝

8月21日(日)

- ロビー**
○受付
- 講堂**
○表彰式
○閉会式

倉陵会館

8月21日(日)

- 2F 学生食堂**
○WS 1 (わらしべ提供)
○昼食会場
○プレゼンターと受賞団体の交流

芝生広場

8月20日(土)

- 実践発表交流会**
○メインステージ
○出展ブース①～⑨
○出展ブース⑩～⑪
○本部席・休憩席

8月21日(日)

- 2号館**
- 8月20日(土)・21日(日)
- 1F 211 教室**
○審査員控室
- 1F 212 教室**
○荷物置き場

7号館

8月20日(土)

- 1F 711 教室 712 教室**
○食事および休憩会場
- 2F 721 教室 722 教室**
○食事および休憩会場

8月21日(日)

- 1F 711 教室**
○WS 6 (実行委員会提供)
- 1F 712 教室**
○WS 4 (防衛省提供)
- 2F 721 教室**
○荷物置き場
- 2F 722 教室**
○大人向け SBP セミナー
- 3F 731 教室**
○WS 2 (津 NPO サポートセンター提供)
- 3F 732 教室**
○WS 3 (アイブレーション提供)
- 3F 733 教室**
○WS 5 (皇學館大学提供)